



首都大学東京 ダイバーシティ推進室

作成：尾崎翔太、喜多晴紀、琴向芽、町田いずみ、宮崎優子、築島瞬、山口翔大

～支援の準備から軌道にのせるまでの半年間の取り組み～

支援学生
約 30 名
(2017.4)
⇒約 65 名
(2017.9)

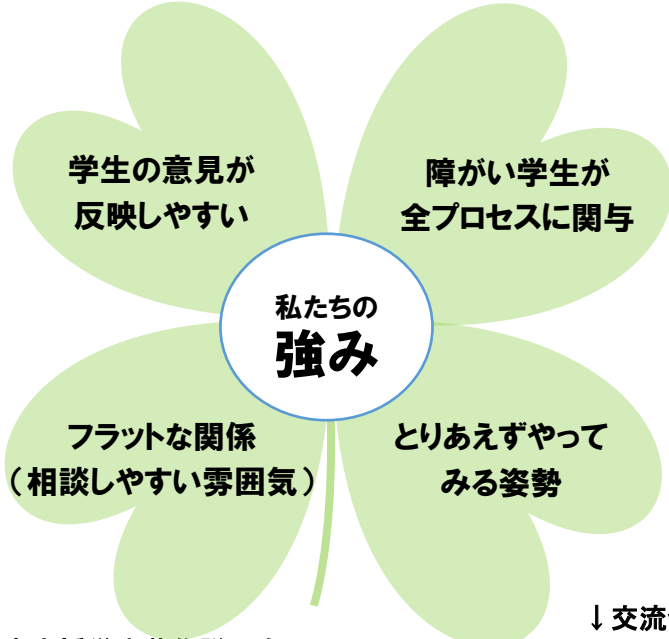
利用学生
5 名
(うち聴覚障がい
学生 2 名)

前期支援
(授業・授業外)
約 270 回

- 【支援メニュー】
- ・PC テイク
 - ・ノートテイク
 - ・文字起こし
 - ・音声認識 (UD トーク)
 - ・手話通訳※
※外部委託



テラ
(支援学生作成マスコット)



- 【振り返り】
- ・登録人数が増え、層が厚くなった
 - ・半年で支援体制を整えることができた
- 【課題】
- ・支援学生の活動を学生、教員に知ってもらう
 - ・他キャンパスでの支援体制の構築
 - ・支援学生間の情報共有の仕組みづくり
 - ・グループディスカッションや理系科目の支援



PC テイク →
↓ 交流会



↓ 支援学生募集説明会



→ 定例会



- ・ガイダンスで障がい学生が呼びかける
- ・支援学生募集説明会
- ・募集用パンフレットの作成

- ① 事前ガイダンス
 - ② PC テイク・ノートテイク講習会
 - ③ 支援見学・体験
- ①～③受講後、支援開始
- ・タイピング練習
 - ・支援学生勉強会

- ・定例会の開催
- ・授業申し送りノートの作成
- ・メーリスや LINE の活用
- ・コミュニケーションボードの活用
- ・ダイバーシティ推進室の存在
- ・教員への配慮依頼



【助走期間】	2017.4	入学式・新入生歓迎会 (学生主催) での支援	【課題】
	2017.4	入学前学習会での PC テイク	● 支援学生不足
	↑	↑ (合格) 入学する障がい学生を交えた講習会	● 主催者・教員との情報共有不十分
	2016.7	2016.7 月 オープンキャンパスでの PC テイク	(特に主催者が学生のときは困難だった)

視覚障がい
学生の活躍

【2016 年度までの状況】

聴覚障がい学生 0 人

支援学生の経験
支援学生の人数
支援のイメージ



※手話講習会、PC テイク・ノートテイクの講習会は開催していた

※障がい学生支援制度はあった

でも…

実践の場が無かった！！